

本時の
目標

漢詩を読んで、想像した情景を説明できる。

静夜思 李白

牀しやう前ぜん看みる二 月光ら
一

疑フラクハレ是 地上ノ霜カト
一

举ゲテ頭かうベラ望ミニ 山 月ラ
一

低たレテ頭ラ思フニ 故 郷ラ
一

言葉リスト

牀：寝台

疑是：…まるで…のようだ

牀前

疑ふらくは

仲間とともに、詩を読み味わおう

Q1 この詩の主人公はどこにいますか？

Q2 この詩の主人公は何をしていますか？

Q3 山月を望むことが故郷を思う気持ちにつながるの、なぜだと考えますか？

この詩にぴったりのサブタイトルを考えよう。

へてびきくこのような書き方はどうでしょうか。

○「静夜思」、 「はどつだろうか。この詩には…」

○この詩のテーマは——である。そこで考えたサブタイトルは

○この詩の主人公は——している。このことから…

○私は——と考えたが、——さんの…もいいと思う。

後期中間考査への道 六

★助動詞の復習問題★ ウサギ80ページを見て答え合わせをしよう。

- 傍線部の助動詞について、それぞれの基本形と文法的意味、活用形を答えなさい。
- 九月廿日の頃、ある人に誘は①れたてまつりて、明くるまで月見ありくこと侍り②しに、思し出づる所ありて、案内せ③させ入り給ひ④ぬ。

2 世の中にたえて桜のなかり⑤せば春の心はのどけから⑥まし

3 秋き⑦ぬと目にはさやかに見え⑧ねども風の音にぞおどろか⑨れ⑩ぬる

4 祇王こそ、入道殿よりいとま給はつて出で⑪たん⑫なれ。いぎ見参して遊ば⑬ん。

- | | | | | |
|---|----|------|-----|--------------------|
| ⑬ | なり | 伝聞 | 已然形 | 今回のテストでは出題対象としません。 |
| ⑫ | | | | |
| ⑪ | | | | |
| ⑩ | | | | |
| ⑨ | | | | |
| ⑧ | | | | |
| ⑦ | | | | |
| ⑥ | まし | 反実仮想 | 終止形 | 今回のテストでは出題対象としません。 |
| ⑤ | | | | |
| ④ | | | | |
| ③ | | | | |
| ② | | | | |
| ① | | | | |